



子どもたちの話し合い活動

校長 田村 稔

今年度、赤泊小学校の子どもたちが学ぶ様子をホームページで紹介してきました。しかし、ご家庭でインターネットに接続できない場合もあるかと思えます。一年間のまとめとして、子どもたちが協働的に学ぶ姿、その中でも特に話し合い活動に焦点を当て、ホームページで紹介した内容を主に学年ごとにピックアップして再掲します。

■ 5年 「想像力のスイッチって何？」（2月9日）

5年生は国語で『想像力のスイッチを入れよう』を教材に読み取りの学習をしていました。子どもたちが学んでいるうちに、標題の疑問が生まれ、指導教員は「これについて話し合うことが子どもたちの深い学びにつながる」と判断。急遽、探求の対話（p4c）に突入です。話し合っているうちに、自分の最初の考えが少しずつ変わっていく子どもたち。最初に強く意見を持っていた子も、友だちの意見を聞いているうちに「確かにそうだなあ」と素直に納得する姿が見られます。友だちの意見を自分の考えに取り入れることは、考えの深まりにつながっているのです。探求の対話p4cは互いの信頼関係を基盤に進めることが大切とされている手法です。自分の意見に固執することなく、柔軟に考えを深めること。それが探求の対話p4cで目指す一つの姿なのであり、それは、他者を尊重し、信頼することを基盤に据えるからこそできるのだらうと考えています。じっくり考えた5年生。いい勉強を重ねています。



■ 3年 議論することを楽しむ子どもたち（1月26日）

3年生は国語の有名教材『ありの行列』で説明文の学習中です。この日は小段落（形式段落）を「はじめ」「中」「おわり」の大段落に再構成する場合、第2段落は「はじめ」に入るのか、「中」に入るのかについて、話し合っていました。

子どもたちの意見はどうなったかというところ、「はじめ」に入ると思う子と「中」に入ると思う子の数は、真っ二つ！意見の違う相手を納得させようと、たとえを使いながら説明する子どもたち。

「第2段落は、『中』の予告編みたいなものでしょう。テレビの予告編は前の回の放送最後に流すものだから、僕は『はじめ』に入ると思います」なるほどー。

「たとえば、体育の時間の後に、理科の時間だとします。理科の実験の前に『これから実験をします』と先生が言うのは体育の時間の中には含まれないで、理科の時間に含まれますよね。だから僕は『中』に入ると思います」おお、そのとおりだね。

担任はすぐには答えを説明しようとはしません。子どもたちの発言に一つ一つ頷き、励ましながらずっと聞いています。あくまでも、子どもたちが議論する中で、自分たちが納得して答えを見つけさせたいという考えのようです。子どもたちは時間いっぱいまで考え、意欲的に議論していました。まるで議論するのを楽しんでいるかのようです。

結局結論は持ち越し。次の国語の時間も議論の続きをするとのこと。みんな、次の国語の時間も楽しみだね。



（裏面に続く）

■ 6年 協働的に鑑賞3（1月25日）

シリーズ化の呼び声高い「6年 協働的に鑑賞シリーズ」。この日は職員研修として、赤泊小学校の教員と赤泊中学校の教員、さらにスペシャルゲストとして新潟大学の先生に向けても、授業が公開されました。鑑賞する作品は、ルネ・マグリットの『大家族』。シュルレアリスムの代表的な画家として世に知られるマグリットですが、その作品群は哲学的と言われるほど難解です。さあ、煌人はこれにどう立ち向かうのでしょうか！



「この鳥はなぜ描かれたのか」「なぜ鳥の中は雲がたくさん浮かぶ青空なのか」「描かれた空は朝なのか夕方なのか」「海は荒れているのか、凪いでいるのか」「空や海は何を表しているのか」・・・作品を構成要素ごとに分け、煌人たちは意見交換しながら細かく分析します。さらには、赤泊の海など生活経験、あるいは自分の生き方、人生に対する考えなど、彼らは自らが持っているあらゆるものを引っ張りだし、全人的に読み取ろうと懸命に取り組んでいました。時には「みんなはこれについてどう考えますか」などと、他の子の意見を聞くなど、話し合いを自ら動かす姿も。最初は混沌としていた考えも、友だちの意見を聞いているうちに、しっかりと輪郭をもつようになり、p4c終了後には「自分の考えを深めることができた」と全員が自分の学びを肯定的にとらえていました。大学の先生も大いに褒めていらっしゃいましたよ。すごいなあ、みんな！

■ 4年 ここでも、書き初めを探求（1月13日）

実は毛筆の書き初めをした学年のうち、結構多くの学年で書き初め作品をテーマに探求の対話(p4c)を行っています。

先週は4年生も対話していました。テーマは子どもたちが「バランスのいい文字ってどうやって書くの？」と設定し、対話開始。様々な意見が出され、もう出尽くしたかなあと見てみると、子どもたちの中から「ところで、私は〇〇についてみんなの意見を聞きたいんだけど・・・」と新たな課題が出され、再び対話が始まります。このような場面が幾度となく繰り返され、話し合いはたっぷり30分間。他の学年同様、時間切れで対話は終了しましたが、まだまだ話し足りない様子。おお、すごい！こういう話題転換とか、話し合いを深める働きかけは、今まで教師が行っていたことです。それを子どもたちが自ら行い、話し合いを回し、探求の対話を深めていくなつて！想像以上に子どもたちは話し合う力を身に付けています。



■ 2年 道徳で探求の対話（p4c）（1月30日）

2年生は車座になって熱心に話し合いをしています。そうですね、探求の対話(p4c)に挑戦です。捨てられていた猫を巡って主人公が葛藤する教材文をもとにして、子どもたちは主人公がどうするべきか、意見を聴き合いました。

このp4cのめあては「友だちの話をしっかり聞こう」。全員が話やすい雰囲気を作るためには「意見をしっかり聞いていますよ」というメッセージを態度で表すことが大切です。

話し合いの中では、友だちの意見を聞きながら「なるほどー」と口に出して言ったり、大きく頷いたりする姿が見られるなど、めあてを意識して話し合っている様子が見られました。

また、「〇〇さんの意見とほとんど同じなんだけれど・・・」とか、「〇〇さんは～って言ったけれど、そのほかにも～があると思うよ」など、友だちの意見を踏まえての発言も見られました。

子どもたちだけでの話し合いはたっぷり30分間は続いたのでしょうか。授業終了の時刻になってp4cは終了しましたが、子どもたちはそれぞれ「友だちの意見をしっかり聞いた」「自分の意見は進んで発表できた」「話し合いが盛り上がるよう心掛けた」などp4cへの参加態度について全て肯定的に自己評価していました。すごいなあ、2年生のみんな。



（次ページに続く）

■ 1年 探求の対話（p4c）（11月2日）

1年生は今までも道徳の授業等で探求の対話p4cを授業に取り入れてきました。この日は、いじめに関するテーマで探求の対話p4cにチャレンジ。20分以上の時間を1年生だけで話し合います。

アンパンマンのぬいぐるみは、それを持っている子に発言権があるという印です。右の写真は、「次に発言したい」とアンパンマンをもらい受けようとしている様子です。自分の意見を言うだけじゃなくて、友だちの意見との関連を考えながら話す姿に、対話が響き合っているなあと感じます。協働的に学ぶ力が育っています。



■ 六年生を送る会の準備（2月15日）

5年生が中心になって企画運営している六年生を送る会。各学年の協力を得るために、代表委員会を開催し、計画を各学年に話してきました。この計画に沿って、全校の子どもたちは六送会の準備を進めています。

この日の昼休みには、縦割班ごとに、班の6年生に向けたメッセージを作りました。5年生以下の子どもたちは、お世話になった6年生にどんなメッセージを贈るのでしょうか。

新型コロナウイルスのため、感染リスクが高まるような活動は控えざるを得ませんが、きっと子どもたちの思いが伝わる集会になることと思います。みんな一生懸命準備しているものね。



（裏面に続く）

(前ページからの続き)

子どもたちの様子を見ていると、「協働的に学ぶことをとても楽しんでいるなあ」と思うときがよくあります。ここで思い出すのが、イギリスの社会学者であるケン・プラマーの言葉です。「ユートピアは場所ではなく、むしろそれはひとつのプロセスであり、そのプロセスの中で我々は今日の最良部分から学び、それを将来世代に伝えていくことができるのだ」。これを赤泊の学習に当てはめると、「学ぶことによって獲得したい目的は、既にその学びや活動の姿として表れていて、それを将来の自分に役立てていくことができる」ということになるのでしょうか。信頼関係を基盤とした協働的な学びあるいは話し合い活動で育成したい能力や態度は、学びのプロセスの中において子どもたちは体現しているのかもしれない。子どもたちが赤泊小学校で学ぶ目的はいくつもあります。そのひとつが、協働的に学ぶことを楽しみ、そして日常生活に生かす力だとすれば、学びの中で子どもたちが楽しみ、また喜びを感じているのもなるほどと納得できます。

さあ、年度末。学年のまとめの時期です。子どもたちも、教職員も、みんな一緒になって、一年間の学びを振り返り、子どもたちのあるいは自らの成長を確認し、互いに喜び合う学年末にしたいと思えます。引き続きのご理解とご協力をお願いいたします。

3月の予定

日	曜	行事等	日	曜	行事等
2	水	校外子ども会, フッ化物洗口, 地域パトロール (~8日)	16	水	フッ化物洗口
3	木	全校下校 14:25	17	木	学級会計監査, 卒業式予行練習
4	金	児童朝会	22	火	給食最終日
7	月	V S 活動実施計画作成	23	水	第3学期終業式, 卒業式準備
8	火	V S 活動	24	木	第75回卒業証書授与式
9	水	フッ化物洗口, 学期末清掃, 6年生と遊ぼう (2年), P T A 総務会	25	金	離任式, 学年末始休業 (~4月5日)
10	木	新編成による委員会活動	【4月の予定】		
11	金	音楽朝会, 学期末清掃, A L T の指導 (2年), 6年生と遊ぼう (3年)	5日	(火)	入学式準備
14	月	学期末清掃, 地域パトロール (~18日) 6年生と遊ぼう (4・5年), 将来の夢放送, 修学旅行説明会 (5年保護者)	6日	(水)	新任式, 始業式, 入学式
15	火	世話係の児童による新1年生宅訪問	7日	(木)	給食開始
			8日	(金)	校外子ども会, 集団下校
			12日	(火)	学校運営協議会
			13日	(水)	職員研修のため全校授業5限後下校
			14日	(木)	交通安全教室
			15日	(金)	児童朝会, 1年生を迎える会
			19日	(火)	全国学力学習状況調査 (6年)
			20日	(水)	避難訓練
			21日	(木)	委員会活動
			28日	(木)	P T A 総会 (予定)

